

共同企業体用会計システムのご案内



共同企業体用会計システム

アドバンス建設財務JV

スタンドアロン版：

298,000円（税別）

LAN対応版：（2クライアント）

398,000円（税別）

【概要】

- 共同企業体の会計処理をシンプルにまとめ、JVの会計処理を大幅に効率化できる共同企業体専用の会計システムです。
- 共同企業体のスポンサーでお使いいただけます。
- 国土交通省が推奨している独立会計方式を採用しています。他社の会計システムが導入されていても、JV独自の会計処理が運用できます。
- 科目コードは3桁または4桁で自由に設定できますので、既存の会計システムと科目コードを合わせることができます。
- 特定JV、共同施行方式のJVに対応します。
※出資割合による按分計算
- ※ 経常JV、分担施行方式のJVには対応しませんので、ご注意ください。

【動作環境】

OS：Windows8/7(32/64bit対応)

メモリ：3GB以上を推奨

ディスプレイ解像度：1024×768以上

プリンタ：Windowsに対応したページプリンタ（A4、B4サイズの印刷可能なもの）

データ保存用：USBメモリ等のリムーバブルディスク装置

■ J Vの種類

共同施行方式（甲型共同企業体）

各構成員があらかじめ定めた出資割合（出資比率）に応じて資金、人員、機械等を拠出し一体として工事を施行する方式

分担施行方式（乙型共同企業体）

共同企業体として請け負った工事を工事場所別（例えば工区）等に分担して施行する方式

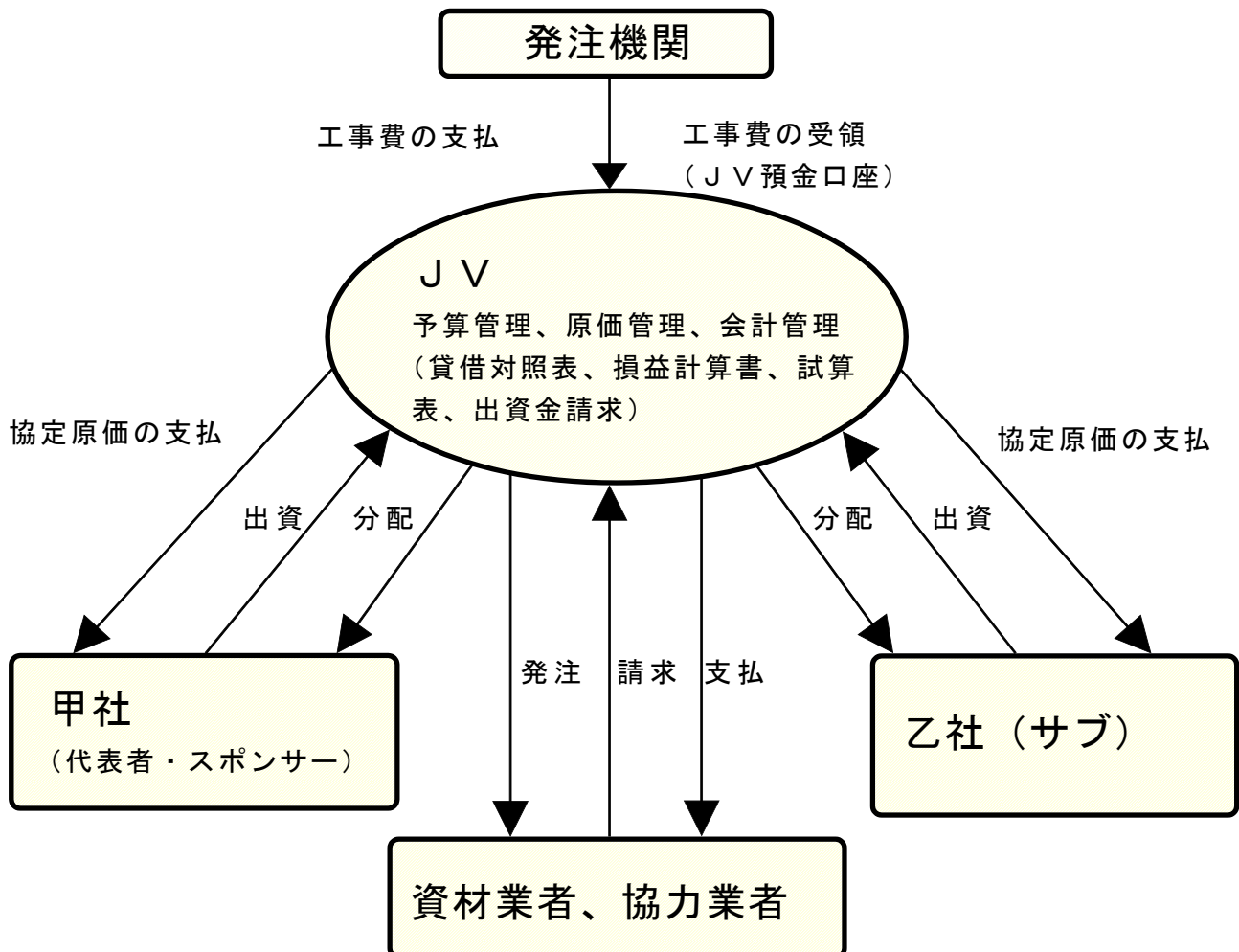
特定建設工事共同企業体（特定J V）

大規模かつ技術的難度の高い工事の施工に際して、技術力等を結集することにより工事の安定的施工を確保する場合等、工事の規模、性格等に照らし、J Vによる施行が必要と認められる場合に、工事ごとに結成されるJ Vをいう。

経常建設企業体（経常J V）

優良な中堅・中小建設業者が、継続的な協業関係を確保することにより、その経営力・施工力を強化するために結成することを認めたものである。

J V独立会計方式の概念図



J Vの会計処理も情報化で効率アップをするには

- J Vごとに専任の現場担当者は配置されますが、経理や事務処理については代表会社の総務部や経理課の作業となります。
通常の会社の業務が有り、限られた人数でこなしていくには、業務の改善や効率化を図らねばなりません。
- J Vの会計処理はあまり世の中に知られていませんし、J V対応の会計システムもごく僅かしかありません。J V全体を賄える会計システムを独自にゼロから構築しようとするとな百万円以上の費用と、出来上がるまでに数ヶ月以上の期間が必要です。
- 資金に余裕のある建設業では、自社用のJ Vに対応した会計システムを構築することは可能ですが、それなりに費用と時間がかかります。

- 特定J Vは工期は限られているので、手作業でやってしまう会社もあります。手作業でできる範囲内であればそれで構いませんが、パソコンで出来ることを、わざわざ手作業で時間をかけて、転記や表計算ソフトで計算し、印刷をして自己満足に終わっていませんか？担当者が替わっても大丈夫ですか？
- 当たり前のことですが、会社の利益につながる仕事に時間を使ってください。そのための時間を作るお手伝いはできます。

- 「アドバンス建設財務J V」は、**独立会計方式**を採用しています。
国土交通省の推奨する独立会計方式は、独自の会計単位を設定することです。
つまり、J Vは、独立した法人として会計処理をなささいということです。

- **常時10個のJ Vまで管理**できます。
常時J Vが11以上になる場合は、自社の会計システムにJ Vを取り込む方式を推奨します。
J Vの構成員数は**5社以内**に対応します。(国土交通省の工事では、原則2社ないし3社)
- **工期は5年(60ヶ月)以内**のJ V工事に対応します。

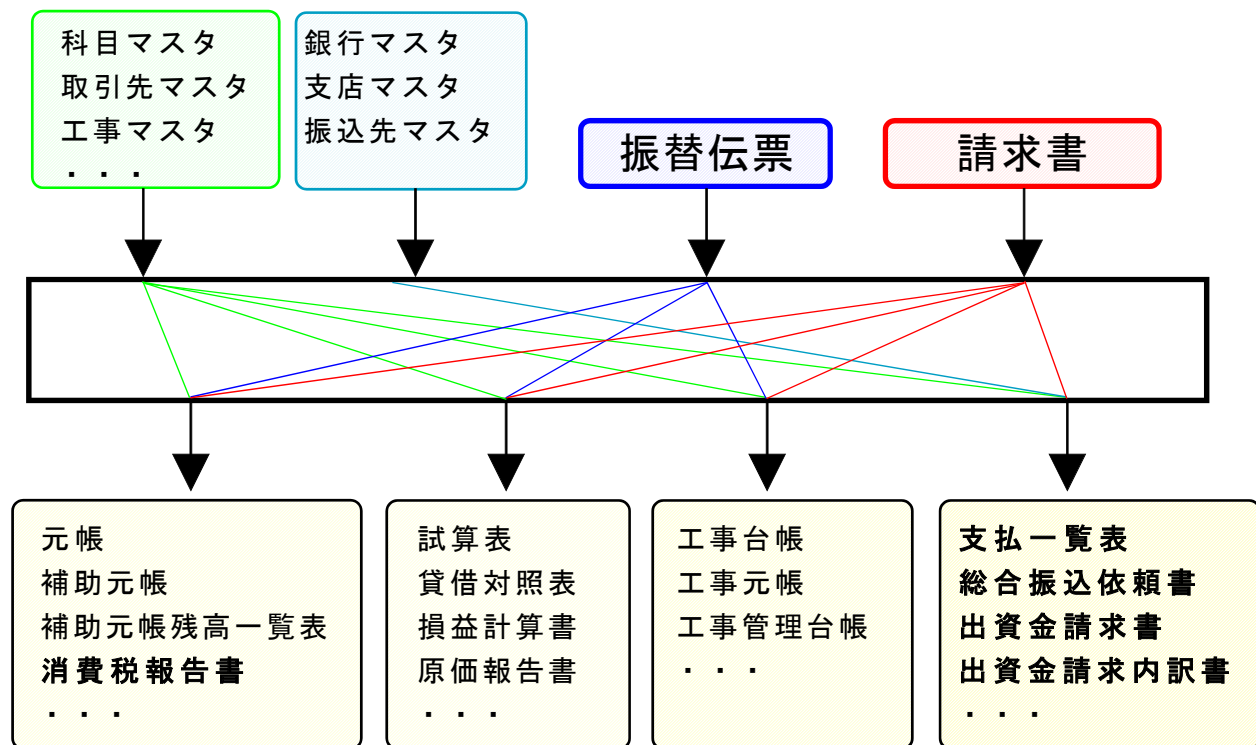
- 振替伝票の入力、請求書入力で支払予定日を入れておくだけで、元帳、補助元帳、試算表から工事台帳、支払一覧表の作成、さらに構成員に対する出資金請求書や出資金請求内訳書まで作成できます。

- J Vでは消費税の納付は行いませんので、**構成員の出資割合に応じた消費税報告書**の作成ができます。科目別の金額、課税対象額、消費税額を、構成員の出資割合で按分した金額を算出できますので、構成員は、その数字を自社の会計システムに入力すれば、J Vの原価の入力が可能です。

- 仕入先や外注先への支払が「振込」のものは、**総合振込依頼書**や**ファームバンキング用のファイル**を作成できますので、**転記の作業を大幅に削減**できます。ファームバンキングを利用していない場合でも、FD(フロッピーディスク)での振込も可能です。(振込手数料が窓口よりも1件あたり100円程度安くなります。)

- J V の伝票は仕入先や外注先からの請求書が 9 割以上、残りが工事代金の入金や支払、振込、振替等の伝票になります。つまり、業者からの請求書を入力して、金額や取引先の間違いが無いかをチェックしておけば J V の会計処理の半分以上は出来たも同然です。請求書で入力した伝票は、振替伝票の様式で印刷できますので、請求書から振替伝票を起票する手間がなくなります。いきなり請求書入力、そして振替伝票を印刷して、請求書と一緒に保管しておくことも可能です。
- J V の処理で一般の会計処理と異なるところは、**構成員に対する出資金請求書と出資金請求内訳書**ではないかと思います。振替伝票、請求書入力から元帳、補助元帳、試算表、工事台帳、支払一覧表、総合振込依頼書、そして出資金請求書、出資金請求内訳書作成までの一連の流れをシンプルにシステム化したのが「アドバンス建設財務 J V」です。「アドバンス建設財務 J V」を導入することで、毎月の J V 会計処理の効率化が図れます。

アドバンス建設財務 J V の概略図



上の図のように、振替伝票と請求書の入力だけで、J V の会計処理に必要な書類を作成することができます。

● 開発元

アドバンスシステム株式会社

電話：0834-22-5611

住所：山口県周南市岐南町2-13

STビル1F

www.advsys.co.jp

● 販売店